2013 年度

東京藝術大学大学院　美術研究科　博士後期課程　学位請求論文
芸術学研究領域（西洋美術史）

ルーチョ・フォンターナの空間主義

––1946 年から 1958 年までを中心に––

図版編

学籍番号　1307926
巖谷睦月

図版

※　作品名の後ろに表記された分類記号（51A1 など）はレゾネの分類番号による

※　作家名の表記がないものはルーチョ・フォンターナの作品

fig.1　コマッビオの記念墓地にあるフォンターナ家の墓

fig.2　ルーチョ・フォンターナ《ベステッティ家の墓（34A1）》1934年

fig.3 《メロディアス（25sc1）》 1925年　石膏、所蔵他不明

fig.4 《フアン・ソッチの肖像（26sc5）》1926年
上塗りした石膏、高さ50cm　所蔵不明

fig.5 《フアナ・エレナ・ブランコの記念碑（27A1）》　1927年　ブロンズ
ロサリオ・デ・サンタ・フェ、エル・サルバドール墓地

fig.6 《御者（28sc12）》 1928年　石膏、所蔵等不明

fig.7（左） マペッリ家礼拝堂 1928年
建築：ブルーノ・フォンターナ、
エルコレ・ファッチョーリ

fig.8（右）《聖母（28A1）》 1928年
ブロンズ、40×20×25cm
ミラノ、記念墓地

fig.9 《版画製造業（30A2）》 1930年 ブロンズ（もとは金メッキ仕上げ）、150×10×95cm
ベラルディ家の墓 ミラノ、記念墓地

fig.10 《家族（30A6）》 1930年
ブロンズ、45×69cm デ・メディチ家の墓 ミラノ、記念墓地

fig.11 《黒い男（30sc1）》 1930年
上塗りした石膏 高さ130cm 所蔵等不明

fig.12 《人間（31sc22）》 1931年
石膏板に着彩、線刻 31.5×48.5cmミラノ、マルコ・ビロッリ所蔵

fig.13 《黒い人物像（31sc7）》 1931年
テラコッタ、焼成後に彩色、線刻
41×30×12.5cm
ミラノ、ルーチョ・フォンターナ財団

fig.14 《勝利（30A5）》 1930年 ブロンズ
エルバ島の戦没者記念碑内に設置、
現存せず

fig.15 《ジュゼッペ・グランディ記念噴水のための模型（31A1）》 1931年
アルミニウム、クリスタル・ガラス 現存せず

fig.16
《恋人たち（33A1）》　1933年
彩色セラミックレリーフ
第５回ミラノ・トリエンナーレの
P・ポルタルッピと建築家グループの
共同プロジェクト
〈既婚者のための土曜の家〉の
外壁に設置　おそらく現存せず

fig.17 《水浴する人（33A2）》　1933年　彩色セラミック像
第５回ミラノ・トリエンナーレのG・ポッリーニとL・フィジーニの共同プロジェクト
〈芸術家のためのヴィッラ–アトリエ〉の中庭のテラス、プール脇に設置　ミラノ、ガラッシ（？）

fig.18 《抽象彫刻（34sc6）》 1934年
白セメント、線刻 40×28cm
ミラノ、ルーチョ・フォンターナ財団

fig.19 《抽象彫刻（34sc17）》
1960年代（1934年）
彩色鉄芯入りセメント、線刻
59×50cm
コロニア、ミカエル・ヴェルナー画廊
※アプストラクシオン・クレアシオンの
冊子に掲載された《抽象彫刻（34sc16）》
（現在所在等不明）を、
作者が1960年代に再制作したもの

fig.20 《抽象彫刻（34sc26）》 1934年
彩色鉄芯入りセメント、線刻
28×18×7．5cm
ミラノ、ルーチョ・フォンターナ財団

fig.21 《鋸をうつ人（33-34sc1）》
1933–34年
着彩石膏、183×82×76cm
パルマ、パルマ大学美術部門

fig.22 《座った女性（34sc1）》 1934年
着彩石膏、84×103×83cm ミラノ、二十世紀美術館

fig.23 《放蕩息子の帰還（34A2）》 1934年
着彩テラコッタ、71×106cm ミラノ、パンカルド通り1番の建物内
建築：ルチアーノ・バルデッサリ

fig.24 《虚空の勝利（34sc2）》
1934年　着色セメント、現存せず

fig.25 《ライオン（35-36sc4）》　1935–36年
グレ、70×60×45cm ドイツ、プライヴェート・コレクション

fig.26 《海の馬（36sc7）》 1936年
着彩セラミック、40×52×341cm ミラノ、プライヴェート・コレクション

fig.27
第6回ミラノ・トリエンナーレ会場
アルテ宮〈勝利の間〉 1936年
マルチェロ・ニッツォリ、
エドアルド・ペルシコ、
ジャンカルロ・パランティと共同制作

fig.28
《勝利の女神（36A1）》および
《勝利の女神に従う馬たち（36A2）》
1936年
いずれも石膏　女神：高さ約500cm
馬たち：高さ約600cm
いずれも現存せず
第6回ミラノ・トリエンナーレ会場
アルテ宮 〈勝利の間〉に設置

fig.29
《エチオピア戦勝記念碑のコンクールのための模型（37A3）》 1937年
石膏、おそらく現存せず
レンツォ・ザヴァネッラ、エンリコ・チューティとの共同制作

fig.30
《イタリアのトルソ（38sc34）》
1938年　テラコッタにエナメル、
168×107×74cm
ミラノ、プライヴェート・コレクション

fig.31 《サン・プロタジオ（38sc6）》 1937年
カンドリアの大理石、高さ180cm
ミラノ、ドゥオーモ内

fig.32
《テレジータの肖像（40sc24）》
1940年
多色モザイク　34×33×15cm
ミラノ、ルーチョ・フォンターナ財団

fig.33
《メデューサ（40sc1）》 1940年
多色モザイク彫刻、400×400cm
おそらく現存せず？
第7回ミラノ・トリエンナーレ
アルテ宮3階の
大階段ホール中央に設置

fig.34
《マスクを持った女（40sc3）》 1940年
着彩石膏、166．5×53×43cm
ヴェローナ、プライヴェート・コレクション

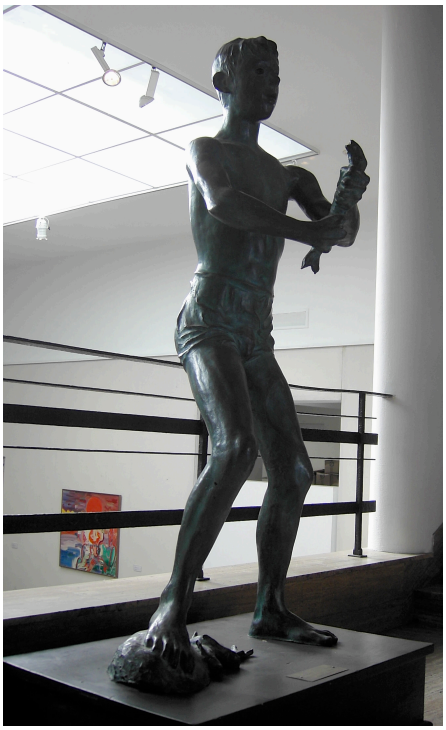

fig.35
《パラナ川の少年（42sc5）》 1942年
ブロンズ、164×72×60cm
ロサリオ、
フアン・B・カスターニョ市立美術館

fig.36 《間奏（42sc1）》 1942年　ブロンズ、100×50×70cm
コルドバ（アルゼンチン）　ヘナーロ・ペレス市立美術館
※レゾネに収録された同作品（石膏製）のブロンズ・ヴァージョン
　石膏版は現地では確認できず

fig.37　ミラノ、セナート通りのビル
建築：マルコ・ザヌーゾ、ロベルト・メンギ

右上：《空間的フリーズ（47A1-5）》のうち
上階2枚の拡大　1947年
多色セラミック、グレ
ビル側面の上から下まで繋がった窓の
各階に横長のレリーフが配されている
右下：《窓の下のパネル（47A6-69）》のうち1枚
1947年　グレ
各階の小窓の下にパネルが配されている

fig.38 《空間的彫刻（47sc1）》
1947年　ブロンズ、５７×５１×２４cm
パリ、ポンピドー・センター
※同作品には
　着彩石膏ヴァージョンもある

fig.39 《空間的彫刻：原子の人間（47sc2）》
1947年　黒く着彩した石膏、高さ92cm
カザーレ・モンテフェルトロ、
プライベート・コレクション

fig.40

《ブラックライトの
空間環境（48-49A2）》
1948-49年
紙製張り子、ニス、
蛍光塗料、ウッドライト
ミラノのナヴィリオ画廊にて
展示、現存せず

fig.41 《空間概念（49B1）》 1949年　100×100cm
モスリンにはりつけた紙に白色の水性塗料、「穴」
ミラノ、二十世紀美術館

fig.42 《ネオンのアラベスク（51A1）》 1951年　ガラスチューブにネオン
第９回ミラノ・トリエンナーレの会場アルテ宮正面階段のホール天井に設置

fig.43 《空間概念（51P3）》　1951年
画布に油彩、ガラス、「穴」 ５７×６７cm　パリ、ポンピドー・センター

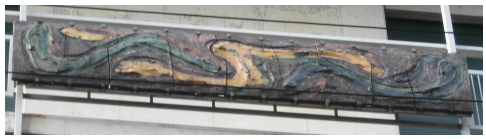

fig.44 《空間的フリーズ（52A3-11）》 1952年
彩色グレの浅浮彫り、バルコニーに設置
左：バルコニー全体
右上：3階バルコニー　中央フリーズ
右下：3階バルコニー　左側面フリーズ
建築：ヴィト・ラティス　ミラノ、ランツォーネ通り

fig.45

《空間的天井（53A1）》
1953年
白い支持体に
筒状の突起の「穴」
1000×600cm
第31回ミラノ見本市
ブレラ社パビリオン映画館天井
現存せず

fig.46 《空間的天井（53A3）》 1953年 「穴」とネオンの切片　第31回ミラノ見本市
シデルコミット（フィンシデル）社パビリオン映画館天井　現存せず

fig.47

《聖母被昇天（54sc30）》
1955年
石膏　高さ220cm　個人蔵
第９回ミラノ・トリエンナーレの
現代宗教建築展示部門に展示

fig.48　サンタントニオ・マリア・ザッカリア通りの建物入口天井の照明（53A8）1953年
ネオン、 ミラノ　（設置は1954年）　建築：ルイージ・ゴー

fig.49

《空間概念（54G4）》 1954年
画布にパステルと裂け目
82×65cm
ミラノ、プライヴェート・コレクション

fig.50
《空間概念（54BA4）》1954年
画布に油絵の具とミクストメディア、
スパンコール
100.5×70.5cm
フィナーレ・リグレ、
ヴァレンテ・アルテコンテンポラーネア

fig.51
《空間的天井（56A1）》1956年
左下：ホテル内設置時の天井全体写真
右上：二十世紀美術館内収蔵品の部分拡大
生の漆喰の上に、内部の彩色された切り込み、
穴、陰影線
プロッキオ（エルバ島）、ホテル・デル・ゴルフォ
の建物内天井
分割・修復の末、現在はミラノ、二十世紀美術
館に所蔵

fig.52

《空間的天井（56A7）》1956年
石膏に穴と着色ガラス　281×495cm
サン・モリッツ、
プライヴェート・コレクション

fig.53 《聖心の顕現（56A3）》1956年
光沢のある多色セラミック　300×180cm　ミラノ、サン・フェデーレ聖堂右側第二礼拝堂

fig.54 《壁面装飾（57A1）》 1957年
漆喰にテンペラ、陰影線と着色ガラス
第11回ミラノ・トリエンナーレの会場、
アルテ宮二階正面階段に設置
現存せず

fig.55 《空間概念（58A14）》 1958年
穴をあけた木に金属とガラス 170×220cm
ミラノ、商工会議所

fig.56 《空間概念（57CA5）》 1957年
リネン紙にアニリン、線影、穴、裂け目　80×100cm　ミラノ、プライヴェート・コレクション

fig.57 《空間概念　期待（58T2）》 1958年
画布にアニリン、切り口　98×135cm　ミラノ、フォンターナ財団

fig.58
《照明（59-60A1）》　1959年
ガラス、ネオン管による立方体
180×180cm
ペーザロのチネマ・デューセの
ために制作された
現在はミュンヘン、
レンバッハハウス美術館所蔵

fig.59
《空間概念　量子（60Q1）》　1960年
複数の整形されたカンヴァスに水性塗料、
「切り口」と「穴」
ミラノ、ルーチョ・フォンターナ財団

fig.60
《空間概念　自然（59N2）》　1959年
テラコッタに「切り口」　49×27×22cm
ミラノ、ルーチョ・フォンターナ財団

fig.61 《空間概念　自然（59-60N3）》　1959年
テラコッタにかき出した「穴」、直径60cm　ミラノ、グイド・バッロ所蔵

fig.62 《空間概念（60O1）》 1960年
画布に油彩、77×93cm ドイツ、プライヴェート・コレクション

fig.63 《エネルギーの源泉、“イタリア61”のためのネオンの天井（61A2）》 1961年
ネオン管による七層構造の天井
トリノの“イタリア61”の「エネルギーの源泉」室の天井として制作、現存せず

fig.64 《照明の空間的天井（61A4）》 1961年
石膏に「切り口」、背部にネオン ロヴェレート、コンドミニオ・ミラノ、アトリウム天井
建物：ルチアーノ・バルデッサリ

fig.65 《空間概念 ニューヨーク10（62ME18-19-20）》 1962年
銅板に切り裂き痕と線刻、234×270cm ミラノ、二十世紀美術館

fig.66
《空間概念　神の終焉（63FD9）》　1963年
卵形のカンヴァスに破れ目、穴、線刻
178×123cm
デュッセルドルフ、
プライヴェート・コレクション

fig.67 《空間概念、小劇場（65TE21）》　1965年
画布に水性塗料、穴、ラッカー仕上げの木枠　178×192cm　ローマ、国立近代美術館

fig.68　第13回ミラノ・トリエンナーレにおけるイントロダクティヴ・セクション　第7ダクト
ナンダ・ヴィゴとの共同制作　1964年　現存せず

fig.69　第13回ミラノ・トリエンナーレにおけるイントロダクティヴ・セクション　第8ダクト
ナンダ・ヴィゴとの共同制作　1964年　現存せず

fig.70
第13回ミラノ・トリエンナーレにおいて、
センピオーネ公園内の第三スペースに
制作された遊歩道 “リストン”
左：遊歩道全体
右：フォンターナ担当部分
共同制作　1964年　現存せず

fig.71
《空間環境（66A2）》 1966年
第33回ヴェネツィア・ビエンナーレにて
制作　現存せず

fig.72
《空間概念、楕円（67EL21）》 1967年
ラッカー仕上げの板、173×72cm
アンヴェルサ、プライヴェート・コレクション

fig.73
《空間概念（67sc4）》 1967年
ラッカー仕上げの金属、200×14cm
ミラノ、ルーチョ・フォンターナ財団

fig.74 《空間環境（67A5）》 1967年
赤−紫のネオン管、アムステルダム市立美術館の個展のために制作　現存せず

fig.75《空間環境（68A1）》 1968年　第34回のヴェネツィア・ビエンナーレ のために制作

fig.76
《空間環境（68A2）》 1968年
カッセル、第４回ドクメンタのために制作

fig.77
アドルフォ・ヴィルト《キリスト》
1919年頃　49×46.2×0.8cm
大理石
パドヴァ、
ガッレリア・ディエゴ・ゴミエロ

fig.78
アドルフォ・ヴィルト《家族　母の頭部》
1922年　大理石　高さ61.2cm
ミラノ、プライヴェート・コレクション

fig.79
《乙女たち（31sc1）》 1931年
オレンジ、黄色、青に着色した
石膏、線刻
42×43cm
ルガーノ、プライヴェート・コレクション

fig.80
《二人の男と二人の女》
1932年　22.9×31.9cm
上質紙にインク、
鉛筆（鉛筆の上からペン）
デッサン

fig.81 《線刻タブロー（31sc17）》 1931年　着色した石膏、線刻、24×28cm
ブリュッセル、プライヴェート・コレクション

fig.82 《対話（34sc11）》 1934年
金メッキしたブロンズ、線刻
68×57cm
ミラノ、プライヴェート・コレクション

fig.83
ジョルジュ・ヴァントンゲルロー 《S×R/3》 1933-34年 鉄、100×100×100cm
ポンピドー・センター、マックス・ビル寄贈

fig.84
《オリンピックの覇者（32sc8）》
1932年
着色した石膏、121×92×70cm
ボローニャ、カッサ財団

fig.85
アルゼンチンで発行された前衛芸術雑誌
『アルトゥーロ』の表紙
1944年

fig.86
ロッド・ロトフス
《上部構造マディもしくは裁断縁をともなう絵画マディ》
1946年　74.5×58cm
３つにわけた紙と木の上にエナメル
ブエノスアイレス、プライヴェート・コレクション

fig.87
《抽象彫刻（34sc14）》　1934年
白と黒に着色した鉄芯入りセメント
所蔵等不明
※60年代にこれを再制作した
作品があり、
そちらのサイズは71×30×17cm

fig.88
ロッド・ロトフス
《マディ絵画》 1946年
80×50cm 木の上にエナメル
ブエノスアイレス、
ギウラ・コシセのコレクション

fig.89
ギウラ・コシセ 《光のマディ彫刻 A-2》
1946年
木の上に発光するネオンのチューブと
アクリルの蓋
55×40×17cm ブエノスアイレス、
シズネロス・コレクション

fig.90《空間概念》 紙に青ボールペン、1946年　２０×２７．５cm
ルーチョ・フォンターナ財団、ミラノ

fig.91《空間概念》 紙に青ボールペン、1946年
２２×２７．５cm　ルーチョ・フォンターナ財団、ミラノ

fig.92《空間の研究（空間のイデア）》
紙に青ボールペン　1946年
２２×２７．５cm
ルーチョ・フォンターナ財団、ミラノ

fig.93 《無題》
紙にインク、1940年頃
２６．５×２１cm
ルーチョ・フォンターナ財団、ミラノ

fig.94 《抽象的コンポジション》 紙に黒インク、1936年
２２×２８cm　ルーチョ・フォンターナ財団、ミラノ

fig.95 《空間環境》
紙に青のグアッシュ、1948年
３７．７×２２．５cm
ルーチョ・フォンターナ財団、ミラノ

fig.96 《空間環境》
光沢紙に青のグアッシュ、
1949年　30×23cm
ルーチョ・フォンターナ財団、ミラノ

fig.97
《1946年から1955年までの作品の
　年代順の記述のためのスケッチ 》
紙に青ボールペン、1961年
33×22cm
ルーチョ・フォンターナ財団
ミラノ

fig.98 《空間概念（環境）》
カンヴァス紙にグアッシュ、1950年
ミラノ、プライヴェート・コレクション

fig.99
『シエンツァ・エ・ヴィータ（科学と生活）』誌
（ローマ、ミラノで発行）の表紙イラスト
1951年５月、
ステファン・ペーターセン蔵

fig.100
『サペーレ』誌（ミラノで発行）の
カバーイラスト
1946年３月

fig.101 《空間的セラミック（49sc6）》 彩色セラミック、1949年
６０×６０×６０cm　ポンピドー・センター、パリ

fig.102
クルト・シュヴィッタース
《メルツバウ》の内部
1923年初頭、ハノーファー
1943年に破壊

fig.103　マルセル・デュシャン
「ファースト・ペーパーズ・オブ・シュルレアリスム展」のためのインスタレーション
1942年　ニューヨーク

fig.104 《ブラックライトの空間環境（48-49A2）》の再現作品　紙張り子、蛍光塗料、ウッドライト
1949年２月５日−１１日までミラノのナヴィリオ画廊にて展示されたインスタレーションを
1976年にアンドレア・フランキが再構成したものを
2007年９月６日−2008年１月６日までマントヴァのカステッロ・サン・ジョルジョにて展示
（「ルーチョ・フォンターナ　彫刻家」展）

fig.105
《ブラックライトの
空間環境（48-49A3）》
1948-49年
写真の上に色墨
２１×１７．５cm
ミラノ、
ルーチョ・フォンターナ財団

fig.106 《空間概念（49B1）》の部分拡大図

fig.107
《空間概念（49B1）》
に光をあてて撮影し
た写真
ナヴィリオ画廊
（ミラノ）の
1952年5月の
展覧会カタログより

fig,108 《映写をともなう空間概念　52B3/52B1》 １９５２年
アッティーリオ・バッチ撮影
ルーチョ・フォンターナ財団、ミラノ

fig.109
《動きの中の発光するイメージ》 １９５２年
アッティーリオ・バッチ撮影
ルーチョ・フォンターナ財団アーカイヴ、ミラノ

fig,110
パブロ・ピカソ
空中を動くフラッシュライトによる
ドローイングの光の軌跡を
撮影したもの、1949年

fig.111
ブルーノ・ムナーリ、
マリオ・シローニらによる、
「光によるデッサン」についての記事

『テンポ』誌
1950年４月１-８日
ルーチョ・フォンターナ財団
アーカイヴ　ミラノ

fig.112 《間接照明の天井（51A5）》
1951年
ネオン、現存せず
第９回ミラノ・トリエンナーレの会場
アルテ宮のロビー及びホール天井に
設置

fig.113　左：《扉全体の粗型（50-51SC2）》
右上：《教皇マルティーノ五世（50-51SC3）》、
右下：《民衆の奉献を受ける
　　大司教アントニオ・ダ・サルッツォ
（50-51SC4）》

ミラノのドゥオーモの第五扉のコンクールの
ための粗型展示の部門にて、第１次選考を
通過したフォンターナの作品群の展示風景
第９回ミラノ・トリエンナーレにて展示

fig.114　第10回ミラノ・トリエンナーレの住宅展示部門における〈ボルサリーノ社住居 N.3〉の居間–食堂の内部　左奥の観葉植物の手前にフォンターナの作品と思われるセラミック製の甕

fig.115
『技術宣言』における解説図の一部　気球の図
1951年

fig.116
『技術宣言』における解説図の一部
宣言文中の（1、2、3、4）を
表していると思われる図
1951年

fig.117　ルーチョ・フォンターナ『技術宣言』挿図より、
地球と空間的視点及び渦巻きの図、 1951年

fig.118　エンリコ・プランポリーニ 《市民空港のためのステーション》 1933年

fig.119
エンリコ・プランポリーニ
《市民空港のためのステーション》内部
1933年　飛行機の発着を知らせる時計
（巨大な航空彫刻もしくは造形的複合体）
木・クロムメッキされた針金・クリスタルガラス・
ネオンなど
第5回ミラノ・トリエンナーレにおける
未来主義のパビリオン　現存せず

fig.120
エンリコ・プランポリーニ
《航空協会のための装飾及び家具の備えられた部屋のプロジェクト・装置のための習作》
1932-33年頃　紙にテンペラ、32.5×48cm、ローマ、プライヴェートコレクション

fig.121　エンリコ・プランポリーニ《「イタリア産鉱物のアウタルキーに関する展示」における「水銀のパビリオン」のセット》 1938-39年、チルコマッシモ、現存せず

fig.122　エンリコ・プランポリーニ 《「イタリア産鉱物のアウタルキーに関する展示」における「水銀のパビリオン」のセット》 部分拡大図　1938-39年　チルコマッシモ、現存せず

fig.123
エンリコ・プランポリーニ《E42のための卵の劇場のプロジェクト》
黒のボール紙の上にテンペラで描いたデッサン　47×65cm　1940-41頃

fig.124　フランク・ステラ
《シングル・ブルー・エナメル　ノン・ブラックシリーズ》 1960年
油彩、91×61cm　所蔵不明

fig.125　フランク・ステラ 《カラー・バンド　同心正方形シリーズ 》 1966年
画布にアクリル絵の具、175.3×175.3cm　プライヴェート・コレクション

fig.126　フランク・ステラ《怖いものなしの大馬鹿者　円柱と円錐シリーズ 》 1985年
油彩、ウレタンエナメル、アクリル、プリントインクほか　320×299×52.7cm
川村記念美術館

fig.127 《抽象彫刻（34sc9）》 1934年
着色セメント、23×25.5cm　ローマ、マールボロ美術画廊

fig.128
ジャン・アルプ 《新芽の花冠II》
1936年
ブロンズ、５２×４２．５×４２cm
プライヴェート・コレクション

註内図版

Fig.1《将軍サン・マルティンの記念碑》
コルドバ、アルゼンチン

Fig.2
ルイージ・フォンターナ
《フアン・M・オルティスの墓碑》
1893年

Fig.3
ルーチョ・フォンターナ
《バンソの肖像（27sc3）》
ブロンズ　高さ50cm
ロサリオ、バンソ蔵

Fig.4　ルーチョ・フォンターナ　1937年
《パリ万博におけるイタリアの船会社の水上パヴィリオンのためのレリーフ群（37A1a-d）》

Fig.5　ズデニェク・ペシャーネク
1937年
《ライト・キネティック彫刻のモデル》